



2017年2月13日

**“義理チョコ、あげたつもり・もらったつもり”
今年で25年目！「バレンタイン・チャリティ募金」を実施**
今年も170万円を寄付し、西アフリカ難民キャンプの子供たちの未来を応援！

共栄火災海上保険株式会社（本社：東京都港区新橋 1-18-6、社長：杉中 洋文）は、毎年恒例の「義理チョコ、あげたつもり・もらったつもり」バレンタイン・チャリティ募金を実施しました。この活動は、職場でなかば儀礼的となった義理チョコの配布を「もっと有意義な目的に使えないか」と考えた女性社員の発案によって自発的に始まったもので、バレンタインデーの義理チョコやホワイトデーのお返しをあげる代わりに、その費用の一部を一口500円で募金しようという活動です。

集まった募金は毎年、NGO「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」を通じて、西アフリカ・マリ共和国の難民支援のために活用されています。1993年に開始されて以来途絶えることなく続けられ、今年で25年目を迎えました。



社員に朝ピラを配布するボランティア推進チーム



職場での募金の様子

今年の活動は、昨年に引き続きマザーランド・アカデミー・インターナショナルがマリ共和国のサハラ砂漠南端地域にある難民キャンプで取り組む、水田づくりに役立ててもらうために、「田んぼ作ろう！プロジェクト」として展開されました。

1月23日（月）から2月3日（金）のチャリティ実施期間中に、女性社員を中心とする「ボランティア推進チーム」が少しでも多くの募金が集まるようにとの思いを込めて、始業前に入社する社員や各職場のメンバーに対し積極的に参加を呼びかけました。ボランティア推進チームはこの活動を発案した女性社員有志により1993年に結成され、以来社員から社員へと引き継がれ、現在も女性を中心とする約38名のメンバーが活動しています。

集計の結果、全国の社員や関連会社の個人から1, 135, 618円が集まりました。これにマッチングギフト（会社からの寄付）567, 809円を加え、総額1, 703, 427円をマザーランド・アカデミー・インターナショナルに寄付しました。なお、これまで25年間の募金総額は約3, 600万円となり、水田づくりの他にも、井戸やくすりハウス（医薬品保管庫兼学習所）の建設、医薬品の援助、砂漠化防止のための植林などに活用されています。

当社は、毎年12月に実施する、衣類や文房具、おもちゃ、医薬品などの物資による支援を目的とした「クリスマス・チャリティ」とあわせ、両活動を当社の国際貢献活動の2本柱として今後も積極的に取り組んでまいります。



水田づくりの様子(マリ共和国) ※写真提供はマザーランド・アカデミー・インターナショナル

■「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」について

マザーランド・アカデミー・インターナショナルは、命の等しさ尊さを子供たちに伝える過程が「教育」そのものだと考えた母親たちが、家でも学校でも地球上のどこにいても、当たり前前にそれを行動に移せる子供を育てる事を目指して「命の等しさ尊さを行動で子ども達に伝える母の会」として1982年に活動を開始しました。世界で最も支援が必要であると国連が指定している国々や地域へ確かな支援ルートを持っており、年間約10便（船便）で物資を送っています。

マザーランド・アカデミー・インターナショナルがマリ共和国の難民キャンプで取り組む「子供たちによる緑の革命事業」は、「木々は砂漠を潤し、教育は民を潤す」をテーマとし、良質の井戸、植林場、学習所、農場等をセットで建設し、サハラ砂漠南端地域にグリーンエリアを設置する、砂漠化阻止と、難民キャンプの人々の自立を支援する活動に取り組んでいます。そして、この事業の一環として実施されているのが「世界の田んぼ・みんなの畑」です。田んぼ作りを通じて子供たちが自ら食べ物を作ることが出来ることや、作った米をさらに貧しい人々へ与えることを通じて、命の大切さや平等ということについて学びます。

マザーランド・アカデミー・インターナショナル
(命の等しさ尊さを行動で子供たちに伝える母の会)

代表：村上章子 氏

【本部事務局】〒140-0004 東京都品川区南品川 5-16-14

TEL:03-3450-5829 (対応時間平日 21:00~22:00) / FAX:03-5461-8929 (24時間受付)

参考資料

■バレンタイン・チャリティ募金の実績

1993年2月	第1回	： 約200万円を西アフリカの井戸掘りの資金として寄付
1994年2月	第2回	： 約200万円を西アフリカの「くすりハウス（医薬品保管庫兼学習所）」の建設資金として寄付
1995年2月	第3回	： 約110万円を西アフリカの「くすりハウス（医薬品保管庫兼学習所）」で活用するランプ、黒板などの備品購入資金として寄付
1996年2月	第4回	： 約130万円を西アフリカの植林費用として寄付
1997年2月	第5回	： 約150万円を西アフリカの植林費用として寄付
1998年2月	第6回	： 約130万円を西アフリカの植林費用として寄付
1999年2月	第7回	： 約110万円を西アフリカの植林費用として寄付
2000年2月	第8回	： 約120万円を西アフリカの植林費用として寄付
2001年2月	第9回	： 約96万円を西アフリカの植林費用として寄付
2002年2月	第10回	： 約84万円を西アフリカの植林費用として寄付
2003年2月	第11回	： 約69万円を西アフリカの植林費用として寄付
2004年2月	第12回	： 約51万円を西アフリカの植林費用として寄付
2005年2月	第13回	： 約118万円を西アフリカの植林費用として、またスマトラ島沖地震の支援金として寄付
2006年2月	第14回	： 約69万円西アフリカの植林費用として寄付
2007年2月	第15回	： 約173万円を西アフリカの植林費用および医薬品購入費用として寄付
2008年2月	第16回	： 約226万円を1994年に建設した「くすりハウス（医薬品保管庫兼学習所）」の建替えおよび医薬品の購入費用として寄付
2009年2月	第17回	： 約255万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2010年2月	第18回	： 約150万円を西アフリカの水田づくり費用として、またハイチ大地震の支援金として寄付
2011年2月	第19回	： 約180万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2012年2月	第20回	： 約190万円を西アフリカの水田づくり費用として、また東日本大震災の被災地支援を目的に寄付
2013年2月	第21回	： 約170万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2014年2月	第22回	： 約155万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2015年2月	第23回	： 約164万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2016年2月	第24回	： 約156万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2017年2月	第25回	： 約170万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
現在までの総合計		約3,600万円